

USER MANUAL

Fractured Strings

目次

はじめに	1
ダウンロードとインストール	4
SPITFIRE APPの設定	6
専用プラグイン	7
概観	8
プリセット・セレクト	10
メイン・コントロール	12
テクニック・セレクト	13
テクニック・エディタ	16
シグナル・ミキサー	18
エフェクト	20
SCALE MODE (スケール・モード)	21
概観 (グリッド)	23
グリッド	25
エフェクト (グリッド)	27
シグナル・ミキサー (グリッド)	28
トップ・メニュー	30
マイク・シグナル	37
テクニック	39
付録	42
FAQとトラブルシューティング	42
テクニック、マイク、ミックス	48
デフォルトのCCマッピング	49

はじめに

AIR Studiosから世界の果てまで。私たちは、Hans Zimmerの名高い作曲チームであるBleeding Fingers Music (『Frozen Planet II』 『Planet Earth II』 『Blue Planet II』) と、ロンドン屈指の弦楽器奏者たちと協力し、新たなタイプの小アンサンブル・ライブラリを作り上げました。このライブラリは、BBCの『Frozen Planet II』でもフィーチャーされています。

本ソフトウェアは、インターバルを取り入れた演奏、新しいモーダルな色彩、そして他に類を見ない深みとリアリズムをもたらす革新的なアーティキュレーション・アプローチを導入しています。全く新しいScale Mode技術が搭載。自然現象に見られる複雑さ、パターンやコントラストを反映した、繊細で感情的な動きやテクスチャーが生まれます。セルラー・ミュージック、アンビエント、ネオクラシカル音楽に最適です。

このライブラリの旅はまだ始まったばかり。8人編成の弦楽アンサンブルと2人のソリストによる演奏が、AIR Lyndhurst Hallの優れた音響環境で生まれ、15種類のシグナル・パスが用意されています。無限のインターバルの可能性を秘めたストリングスを、温かさ、粗さ、暗闇や光の場所へと自在に導くことができます。

動作環境

Mac

- macOS 10.13~12
- 最小: 2.8GHz i5 (クアッドコア)、8GB RAM
- 推奨: 2.8GHz i7 (6コア)、16GB RAM、Apple Silicon、64bit

Windows

- Windows 7, 8, 10またはWindows 11 (最新のサービスパック、64ビット)
- 最小: Intel Core 2.8GHz i5 (クアッドコア)、またはAMD Ryzen 5
- 推奨: Intel 2.8GHz i7 (6コア) またはAMD R7 2700
- 64bit DAW

- インストール・サイズ 88.1 GB未満
- 専用プラグイン (AU, VST2, VST3, AAX)
- NKS対応

⚠️ 最新の対応状況については製品ページをご確認ください。

屈折、開花、そして舞い上がる

これは、新しいタイプのチェンバー・ストリング・ライブラリであり、あなたが作曲するジェスチャーや跳躍、細胞状のモチーフに温かみや色彩、そして人間味を注ぎ込むために設計されています。また、意外なインターバルやモードの可能性があなたにインスピレーションを与えます。これらのストリングスは、100以上の7度展開、2音ステートメント、スウェル・ローテーション、ピチカート・ストラム、ソアリング、そして広がりのあるコード・エクステンションを通じて屈折し、開花し、そして空高く舞い上がります。

新しいScale Mode

新しく導入されたScale Mode技術では、7つのダイアトニック・スケールから選択、あるいはクリックするだけで自分のスケールを構築できます。そこから、演奏者があなたの指示に従い、インターバル的なストリング・テクニックを発展させ、強いペロシティでより広いインターバルを引き出し、無限のインスピレーションをもたらします。

AIR LYNDHURST HALL

広大で無情な風景で繰り広げられる小さく細密な瞬間を捉えるために、大ヒット映画のスコアの聖地である巨大なAIR Lyndhurst Hallに、ロンドンの最高の弦楽器奏者たちを招集しました。8人の演奏者とBleeding Fingers Musicのチーム、そして作曲家、指揮者、エンジニアの共同体が協力し、短い跳躍、ジェスチャー、そしてスウェルの壮大なパッケージを作り上げました。こうして得られたサウンドは、Albion Neoや Chamber Strings, Olafur Arnalds Chamber Evolutionsなど、他のAIR Studiosで録音された小規模ストリングス・セッション・ライブラリとも見事に調和します。

エクストリーム・スコアリング

『Frozen Planet II』のために、Bleeding Fingers Musicと作曲家Hans Zimmer, James Everingham, Adam Lukasは、凍てつく静寂のシーンだけでなく、アクション、緊張、危機、ドラマのシーンをスコアリングできるライブラリを求めています。本ソフトウェアは、氷河のささやきのようなテクスチャをイミテーションするのではなく、ミクロから壮大なジェスチャーまで、地球の豊かな旋律的瞬間を反映する、音とテクスチャのスペクトラムを提供します。その結果、このライブラリは、地球の果てを超える可能性を持つものとなっています。

BLEEDING FINGERS MUSIC

Emmy賞受賞歴があり、BAFTA賞にもノミネートされたBleeding Fingers Musicは、Hans Zimmerによって厳選され、指導を受けた多彩な作曲家集団です。

彼らは、BBCの「Primates」でEmmy賞のOutstanding Music Compositionを受賞し、BBCの「Planet Earth II」とナショナル・ジオグラフィックの「Being the Queen」でエミー賞にノミネートされ、さらにBBCの画期的な「13 Minutes To The Moon」で2つのWebby賞を獲得しました。彼らは、ナショナル・ジオグラフィックのドキュメンタリー映画「Apollo: Missions to the Moon」、BBCの「Around the World in 80 Days」「Blue Planet II」「Planet Earth II」「Seven Worlds; One Planet」、Foxの「The Simpsons」、ソニー・ピクチャーズの「Superfly」、ナショナル・ジオグラフィックの「Diana: In Her Own Words」「The Planets」「Savage Kingdom」、A&Eの「Intervention」、Netflixの「Alien Christmas」、Apple TVの「Earth At Night In Color」、ナショナルジオグラフィックの「The Real Right Stuff」、Apple TV+の「Prehistoric Planet」など、さまざまな作品のオリジナル音楽を手掛けています。

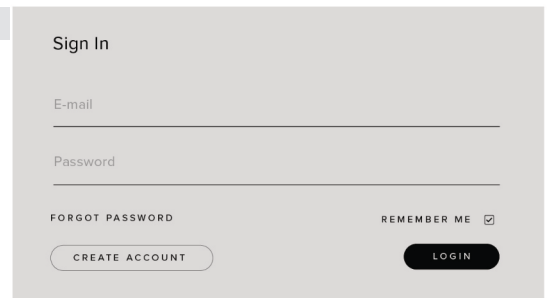
近年では、Radiohead, Sia, Muse, Foals, Aurora, X Ambassadorsといったメインストリームのミュージシャンをスコアリングの世界に取り込む革新的な方法を見出しています。8つの国から集まったBleeding Fingersの作曲家たちは、それぞれの広範な音楽的アイデンティティを受け入れ、育み、他に類を見ない音の深みを提供しています。Hans Zimmerの世界的に有名なサンタモニカ・キャンパスにある最先端のスタジオに拠点を置き、最高水準のクリエイティブ・プロダクションチームによってサポートされているBleeding Fingersは、音楽制作において最高の基準を維持しています。

ダウンロードとインストール

Spitfire Audio Appを[ダウンロード](#)すると、アプリを通じてライブラリをダウンロードできるようになります。

THE SPITFIRE AUDIO APP

アプリを起動して、弊社のWebサイトと同様にログインしてください。



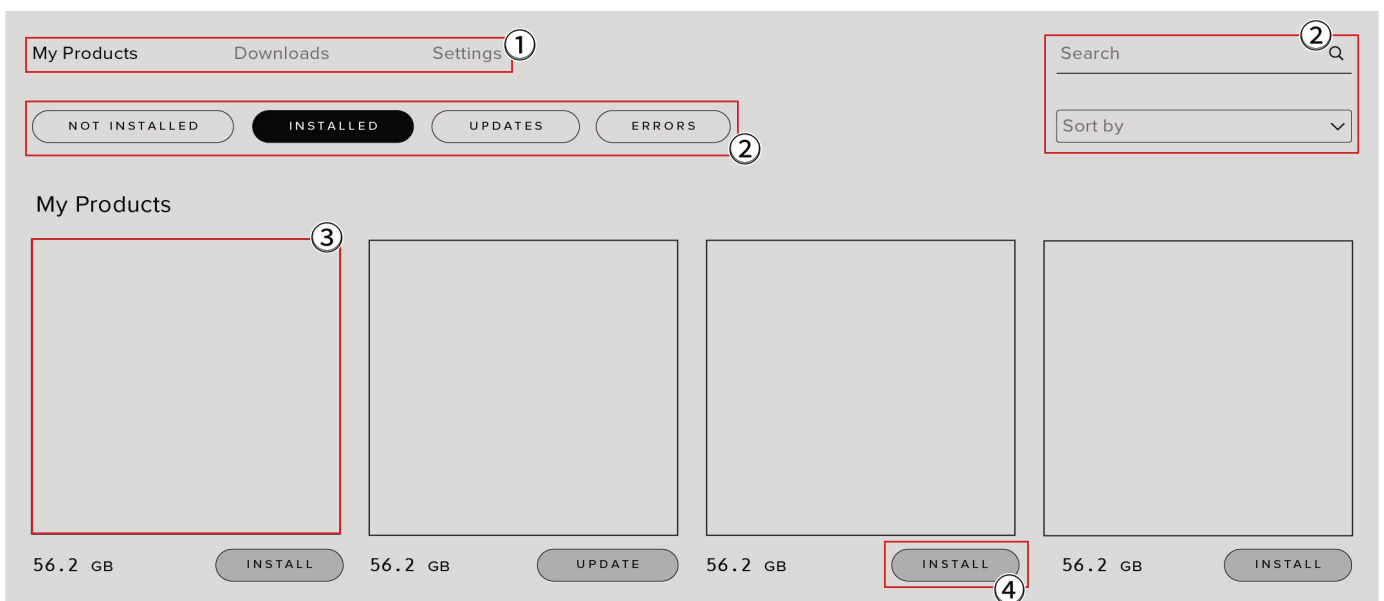
Sign In

E-mail

Password

[FORGOT PASSWORD](#) [REMEMBER ME](#)

[CREATE ACCOUNT](#) [LOGIN](#)



My Products Downloads Settings ①

NOT INSTALLED INSTALLED UPDATES ERRORS ②

Search ②

Sort by

My Products

56.2 GB INSTALL 56.2 GB UPDATE 56.2 GB INSTALL ④ 56.2 GB INSTALL

③

① タブ

デフォルトは**My Products**です。**Downloads**には、ダウンロード中の製品が表示されます。

② フィルタ

フィルタをクリックして、まだインストールされていない製品、インストール済みの製品、利用可能なアップデートが表示されます。再度クリックしてフィルタを解除します。

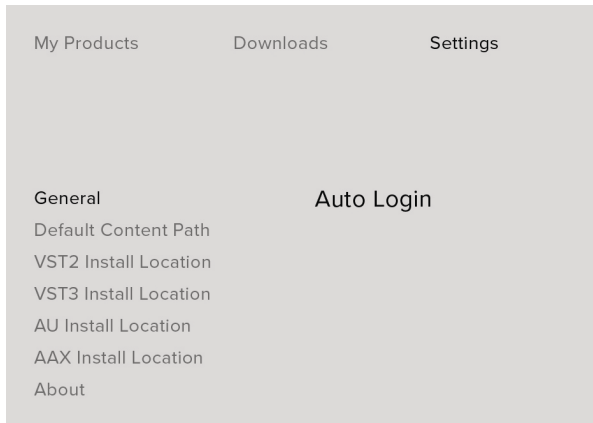
③ ライブラリ

コレクション内のすべてのライブラリとプラグインが、アートワークと共に表示されます。アートワークをクリックすると、製品ページが開きます。システム要件や説明書、リセットや修復オプションなどの情報を見つける際に使用します。

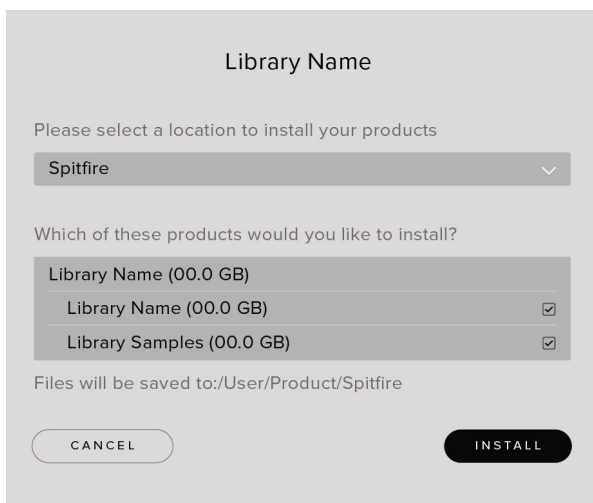
④ [INSTALL]／[UPDATE]

ボタンをクリックすると、ライブラリに移動する代わりに、**My Products**タブから直接ダウンロードを開始できます。ボタンの横には、ダウンロード時のサイズが表示されます。

SPITFIRE APPの設定



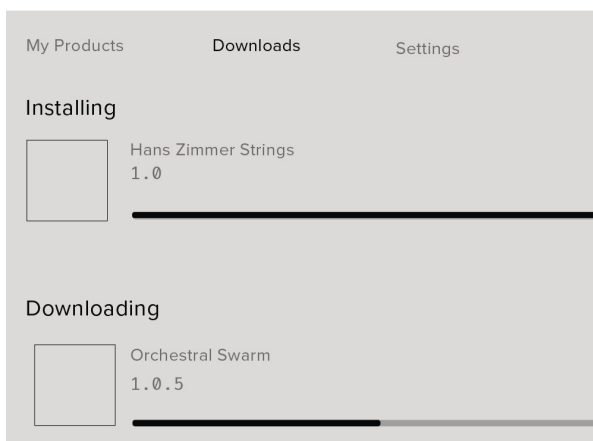
Spitfire Audio Appを初めて利用される場合、まず**Settings**タブを開いてください。ライブラリのダウンロード時のDefault Content (デフォルト・コンテンツ) の場所や、プラグイン (VST2, VST3, AU, AAX) のインストール先を設定できます。**Auto Login**を有効にすると、次回以降のログイン時間が短縮されます。



設定の完了後、[INSTALL]ボタンをクリックします。このボタンは、ライブラリのアートワークの下の**My Products**タブ、または各ライブラリ・ページに表示されます。

クリック後、インストール先を指定します。上述のデフォルト・コンテンツの場所以外に、ここでは任意の場所を指定できます。[HDD Install]選択時にも適切なインストール場所を指定してください。

インストール先が決まったら、[DOWNLOAD]をクリックします。



Downloadsタブが表示されます。他のタブに切り替えて別のダウンロードを開始することもできますが、Spitfire Audio Appは終了しないようにしてください。

専用プラグイン

本製品は、VST, AU, AAX用のまったく新しいプラグインです。

- ⚠ これらの動作は各DAWのバージョンやOSまたはソフトウェアの表示言語によって異なる場合があります。
詳しくはお持ちのDAWに付属する各マニュアル内の該当ページをご確認ください。

LOGIC PRO X

- 新規トラックのダイアログ・ボックスを開きます。
- [ソフトウェア音源]を選択し、[インストゥルメント]ドロップダウンの下を見てください。
- AU Instruments > Spitfire Audio > Fractured Stringsを選択。

CUBASE

- トラック・ウィンドウを右クリックし、'Add Instrument Track'を選択します。
- [インストゥルメント]ドロップダウンの下のFractured Stringsを選択。
- Add Trackを選択。

PRO TOOLS

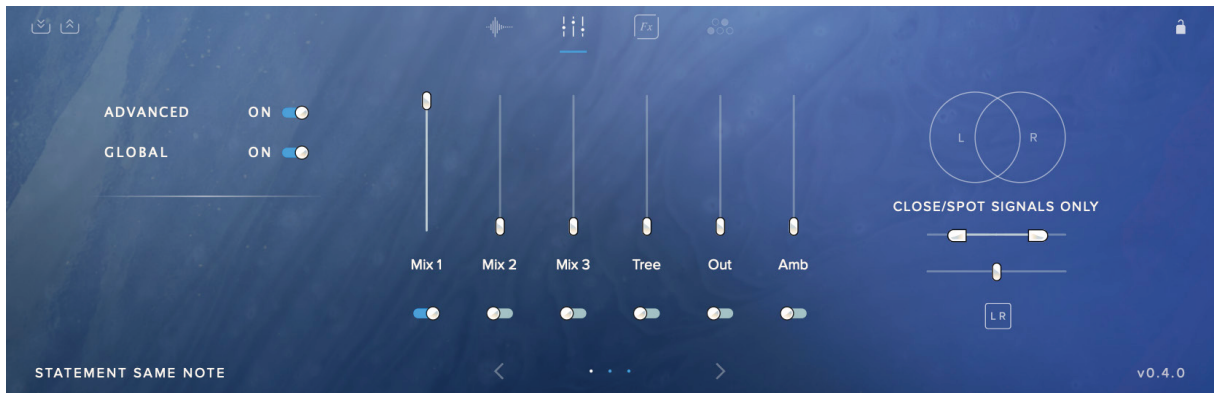
- 画面上部の'Track'メニューから'New'を選択。
- ポップアップでStereoとInstrument Trackを選択し、'Create'を押します。
- 最初のInsertスロットで、マルチチャンネル・プラグインを選択し、'Instrument'を選択。
- Fractured Stringsの選択肢を開けます。

概観



- ① トップ・メニュー
- ② プリセット・セレクタ
- ③ メイン・コントロール
- ④ テクニック・セレクタ

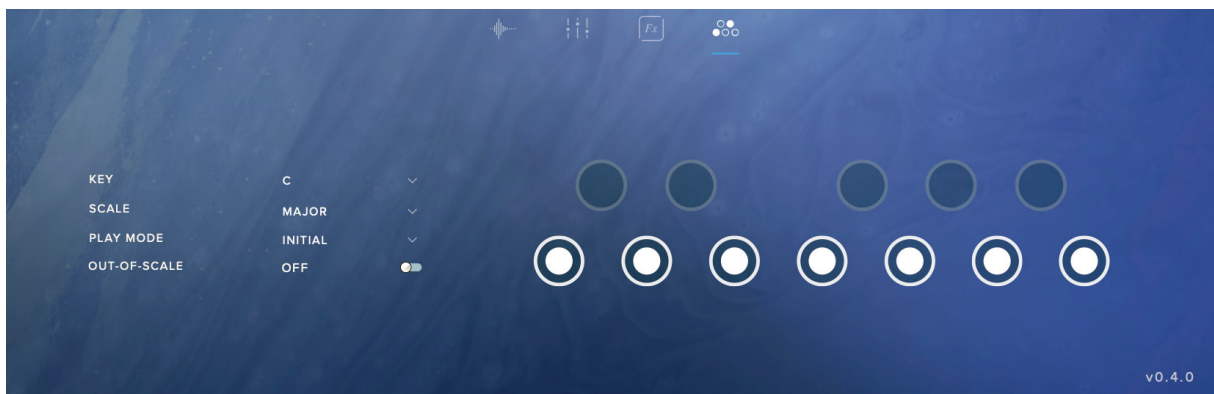
シグナル・ミキサー



コントローラ



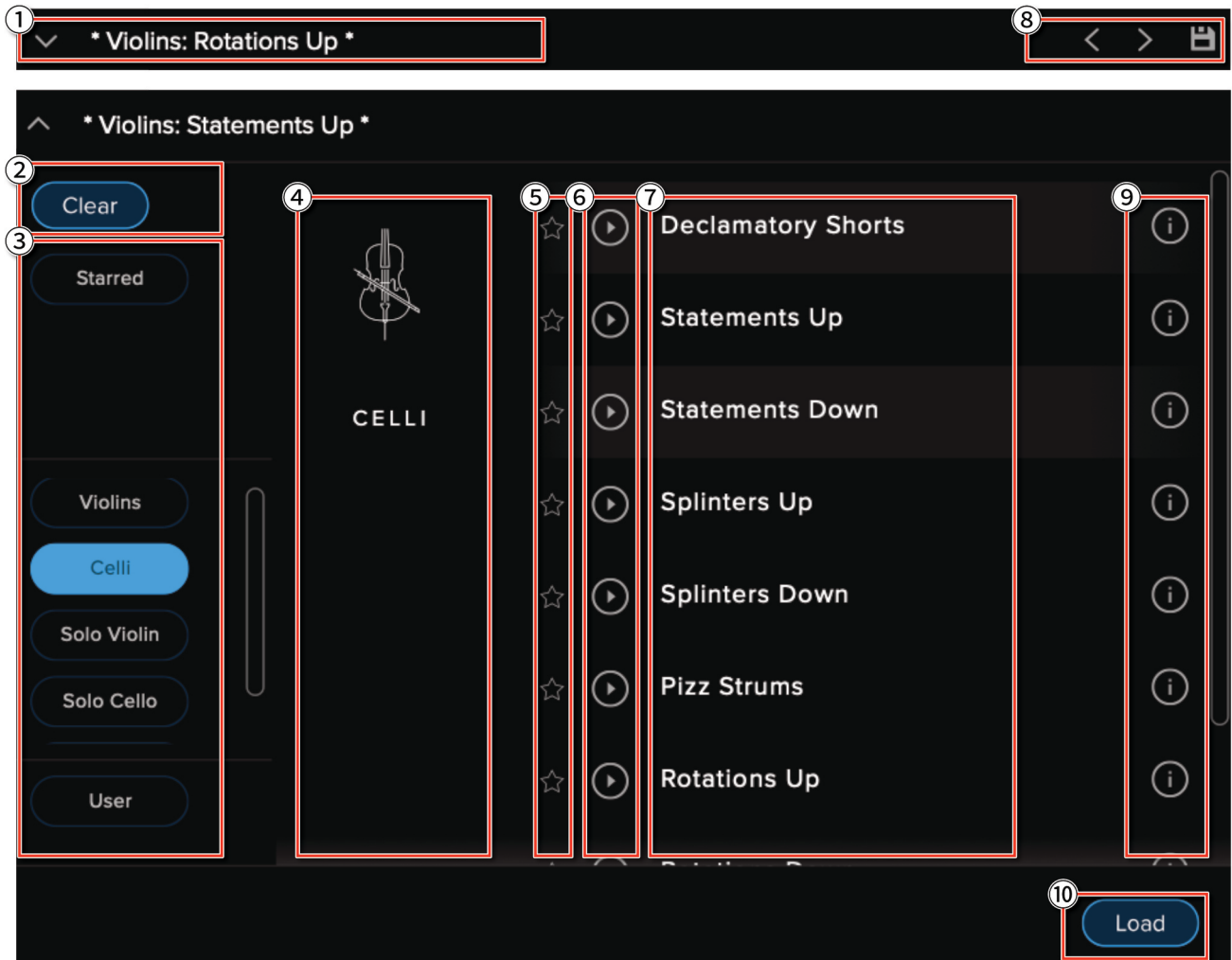
スケール・モード



キーボード、INFO (情報)



プリセット・セレクタ



① プリセット名

選択中のプリセットを表示。

② フィルタをクリア

すべてのインストゥルメントをまとめて表示。

③ フィルタ

クリックすると、各フィルタでグループ化されたプリセットのみを表示。

④ インストゥルメント・グループ

利用可能なプリセットをスクロールすると、インストゥルメント・グループがここに表示されます。

⑤ お気に入り

☆ボタンを押して、お気に入りとしてフィルタに追加。

⑥ プレビュー

プリセットを読み込むことなく、そのプリセット音色の短い例を再生。


⑦ プリセット・リスト

プリセット・リストをスクロール表示します。プリセットをロードするには、リスト項目をダブルクリックするか、[Load]ボタンをクリック。

⑧ 前、次、保存

プリセット・ビューを折りたたむと、3つのアイコンが表示。

前(<)と次(>)は、単に次の利用可能なプリセットに移動します(フィルタ有効時、フィルタ結果のプリセット・リストをスクロール)。

保存ボタンをクリックし、プリセットに名前を付けると、Userフィルタの下に表示。

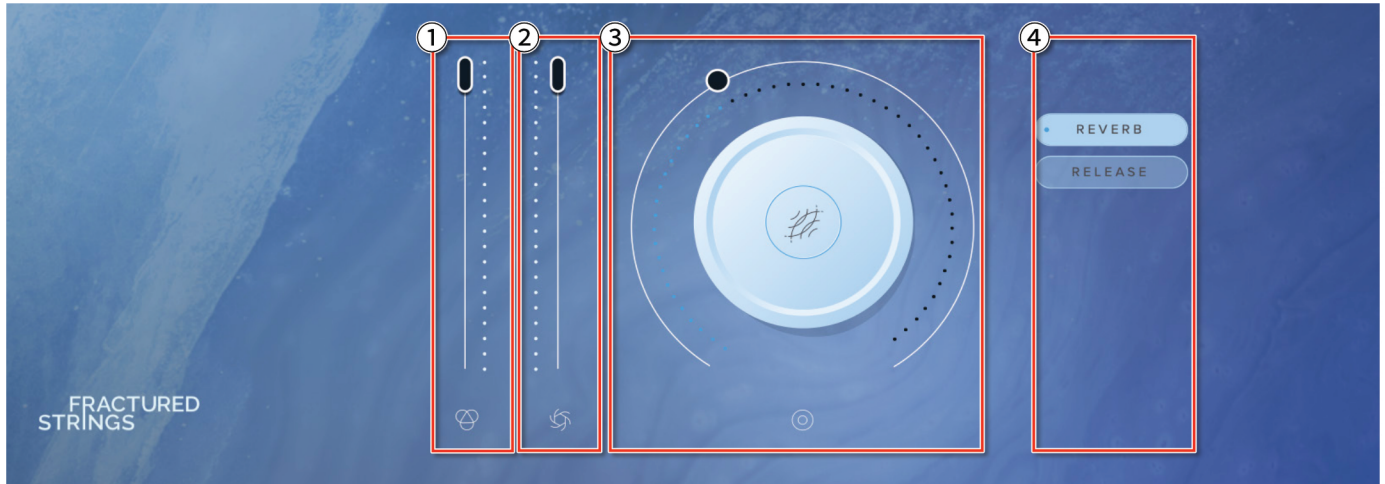
⑨ 情報

[i]アイコンにマウスオーバーすると、プリセットの関連情報を表示。

⑩ ロード

プリセットを選択し、ロードする際に押すボタン。

メイン・コントロール



① ボリューム

一般にExpressionと呼ばれるシンプルなレベル・コントロール。

② ダイナミクス

演奏中のダイナミック・レイヤーを調整。ボリュームと組み合わせて使用すれば、演奏がより音楽的に。

③ ノブ

自由に設定可能なノブで、特定のテクニック（奏法）で使用可能な各種パラメーターをコントロールできます。ノブにマウスオーバーすると色が変わります。

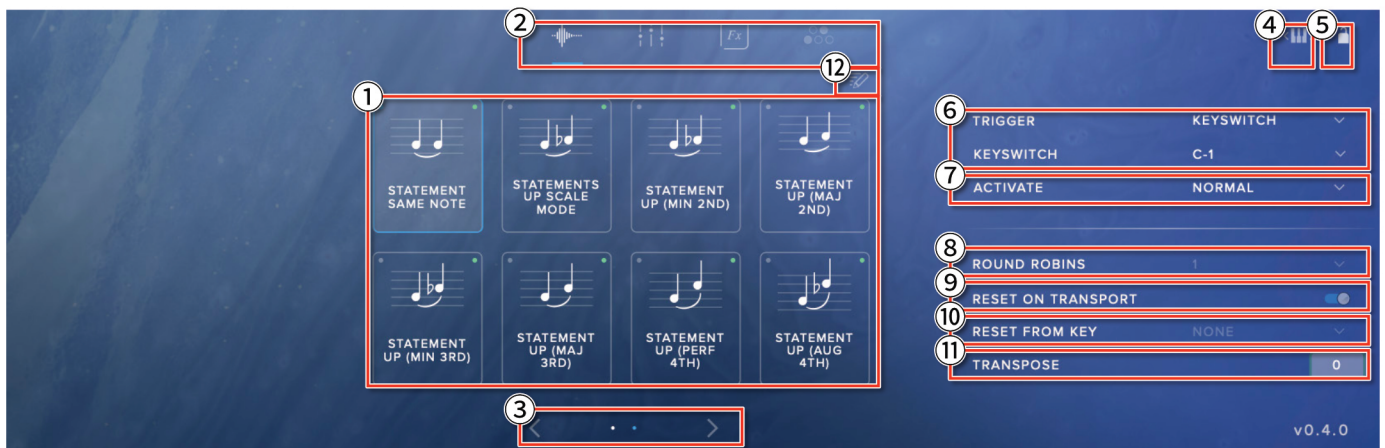
④ 機能の割り当て

クリックすると、利用可能なコントロールのいずれかをノブに割り当てられます。

💡 これらのコントロールは、右クリックして表示されるメニューから設定することで特定のMIDIコントローラにアサインできます。

💡 MIDIコントローラをノブにアサインしたとき、そのMIDIコントローラはノブ自体にアサインされるのではなく、ノブにアサインされたパラメータに紐づけられる点にご注意ください。

テクニック・セレクト



① テクニック・スイッチャー

クリックしてテクニックを選択。Shift+クリックで複数のテクニックを選択できます。左上の赤い点は、再生されるテクニックを示し、アウトラインは、このページ上での他のオプションからの設定変更を示します。

② ビュー選択

各機能ビューを切り替え。各機能については該当項を参照。

③ テクニック・ナビゲーション

8つ以上のアーティキュレーションが使用可能な場合に表示されます。右矢印>をクリックして、追加のテクニックにアクセスできます。

④ キースイッチ調整

クリック&ドラッグでキーボードのキースイッチを左右に移動します。

⑤ ロック

テクニック・セクションがロックされ、不要な変更を防ぐことができます。

⑥ テクニック・トリガー

様々なパラメータを使用してテクニックをトリガーできます。

KEYSWITCH	キーボードのキーで各テクニックを選択。選択されたキーは、未選択のテクニックでは緑色、選択されたテクニックではオレンジ色で表示されます。
CC RANGE	コントロールのCCと値の範囲(または単一の値)でテクニックを選択。
VEL. RANGE	演奏の強さに応じてテクニックを選択。ソフトに演奏するときはロングを、ハードに演奏するときはピチカートをトリガーするとよいでしょう。
MIDI CHANNEL	入力されるMIDIチャンネルに基づいてテクニックを選択。
SPEED	演奏速度に応じてテクニックを選択。特定のテクニックに切り替えるためのノート間の時間間隔を指定してください。

⑦ アクティブ

テクニックの切り替えを "NORMAL" と "LATCH" で切り替えます。

NORMAL	次のキースイッチが押されるまで、そのアーティキュレーションを維持。
LATCH	キースイッチのキーを押している間だけ、そのアーティキュレーションを維持。

⑧ ラウンドロビン

繰り返されるノートが機械的で不自然に聞こえないようにする手法。同じノートを演奏するたびに、同じ音程、同じアーティキュレーションの別のサンプルが順番に鳴ります。ここでは、そのバリエーション数を調整できます。

⑨ トランスポートでリセット

DAWのトランスポートの再生ボタンを押すたびに、ラウンドロビンのバリエーションがリセットされるようになり、毎回同じ再生結果が得られるようになります。

⑩ キーからリセット

キースイッチを使ってラウンドロビンをリセットできます。ここではそのキースイッチを選択。

⑪ トランスポート


1半音単位で上下にトランスポートします。このコントロールはサンプルをストレッチするのではなく、入力された MIDI ノートをトランスポートします。

サンプルを調整するには、TUNE ノブを使用します。

⑫ テクニック・エディタ

テクニック・エディタを開き、プリセットのカスタマイズや編集を行います。

テクニック・エディタ

テクニック・セレクタの⑭鉛筆アイコン  をクリックすると、現在のプリセットからテクニックを削除したり並べ替えるエディタが開きます。




① カテゴリー

特定のプリセットで利用可能なすべてのテクニックをフィルタリングできます。

② テクニック

各プリセットで利用可能なすべてのテクニックが表示されます。[+]をクリックすると、現在のプリセットにテクニックを追加できます。

③ テクニック・アレンジャー

現在のアーティキュレーションが表示されます。クリックしてドラッグすると、クリック&ドラッグで順番を並べ替えできます。右上隅の[×]をクリックしてプリセットからテクニックを削除、上のゴミ箱アイコンをクリックしてすべての奏法を完全に削除します。

④ キャンセル／保存

編集が完了したら[Save] (保存) をクリックします。保存したくないときは[Cancel] (キャンセル) を選択すると、元の設定に戻ります。

シグナル・ミキサー



① ミキサー・プリセット

異なるインストゥルメントやプリセット間でミックス設定を共有する際に便利です。☑️をクリックすると保存され、📁をクリックするとロードされます。

プリセットの名称変更、削除を行うには、OSごとのファイル・システム上で Fractured Strings > Presets > Mixとフォルダに移動し、mpresetファイルを編集します。

② 詳細設定

デフォルトでロードされるビュー。各シグナルの音量をフェーダーで操り、楽器の音の近さを調整できます。

③ グローバル

ミキサーに加えた変更が、プリセット内のすべてのテクニックに反映されます。Offにすると、ミキサーへの変更は選択したテクニックのみに影響します。

④ テクニック名

⑤ シグナル・ナビゲーション

左右矢印<>をクリックして追加シグナルにアクセスできます。未使用のシグナルは灰色で表示されます。

⑥ シグナルのOn/Off

ここでシグナルのOn/Offを切り替えます (フェーダーを上げることでOnになります)。シグナルをOnにした場合、完全に有効になるまで時間差がありますので、インターフェース左上のLED を注視してください。

⑦ シグナル・フェーダー

各シグナルのレベルを調整します。右クリックでMIDIランできます。

⑧ ビュー選択

各機能ビューを切り替え。各機能については該当項を参照。

⑨ 左右チャンネルの反転

左右のチャンネルを入れ替えます。

⑩ パン

ステレオ・フィールド内での近接シグナルとスポット・シグナルの位置を調整します。

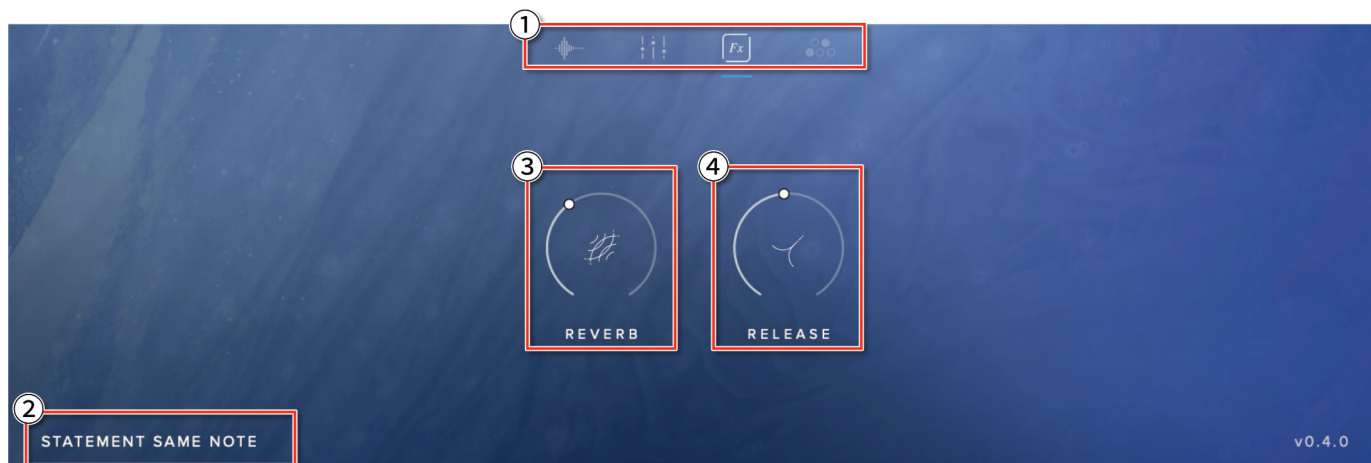
⑪ ステレオ幅

近接シグナルとスポット・シグナルのステレオ幅を調整します。右クリックでMIDIランできます。

⑫ ロック

ミキサーをロックし、ミキサーへの変更を禁止します。MIDIコントローラによる変更も防げますが、ミキサーのロックを解除するとすぐにコントロールがアクティブになってしまうのでご注意ください。

エフェクト



① ビュー選択

各機能ビューを切り替え。各機能については該当項を参照。

② テクニック名

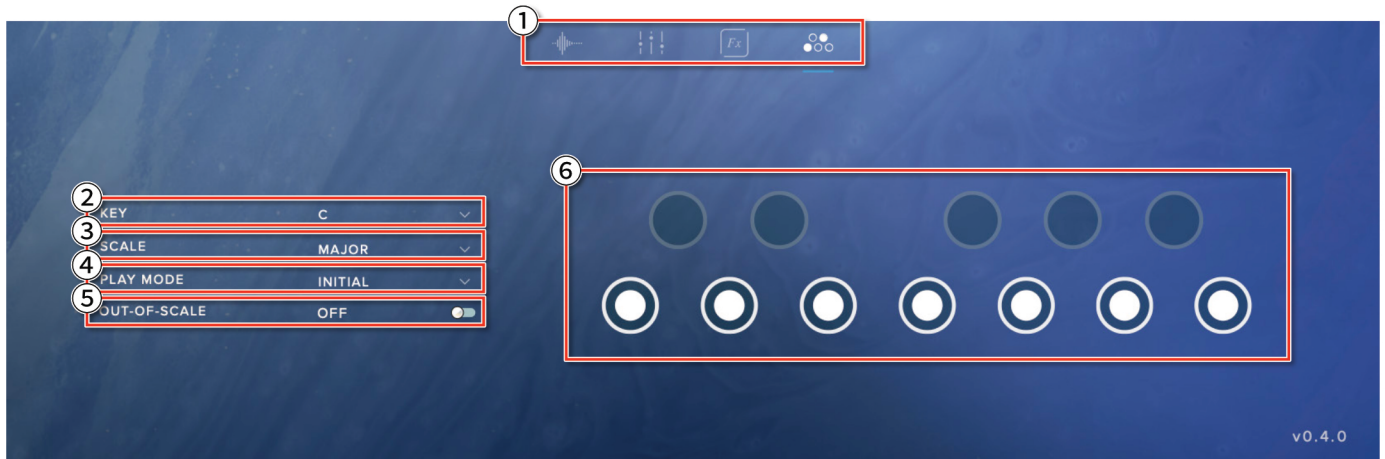
③ リバース

リバースのレベルを調整。リバース・タイプを選択できます。

④ リリース

リリース・トリガーの音量を調整。ロング・テクニックでのみ使用可能。

SCALE MODE (スケール・モード)



スケール・モードは、複数のピッチ間を移動するアーティキュレーションを、ユーザーが定義したスケールに従ってキーボード上にマッピングします。

ユーザーは、12音キーボードのUIエレメント⑥を使って、好きなスケールを定義できます。ユーザーがノートを演奏すると、スケール・モードは、演奏されたノートと選択されたスケールに基づいて、インテリジェントに「有効な」音程を演奏します。

① ビュー選択

各機能ビューを切り替え。各機能については該当項を参照。

② キー

C～Bまでのすべてのキーをドロップダウンから指定します。

③ スケール

メジャー、マイナー、モード (ドリアン、フリジアン等) を含む様々なスケールをドロップダウンから指定します。

④ プレイ・モード

鳴らした音程を開始音とするか最終音とするか選択します。

⑤ スケール外の音の使用

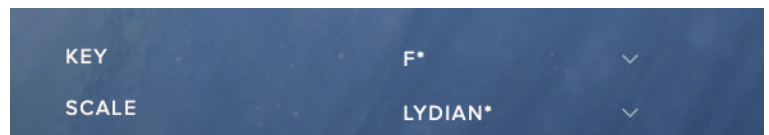
トグルスイッチを有効にすると、選択されたキーの外側のノートをトリガーすることができ、演奏されたノートとスケール内の他のノートを含むサンプルが演奏されます。

⑥ スケール・ボタン

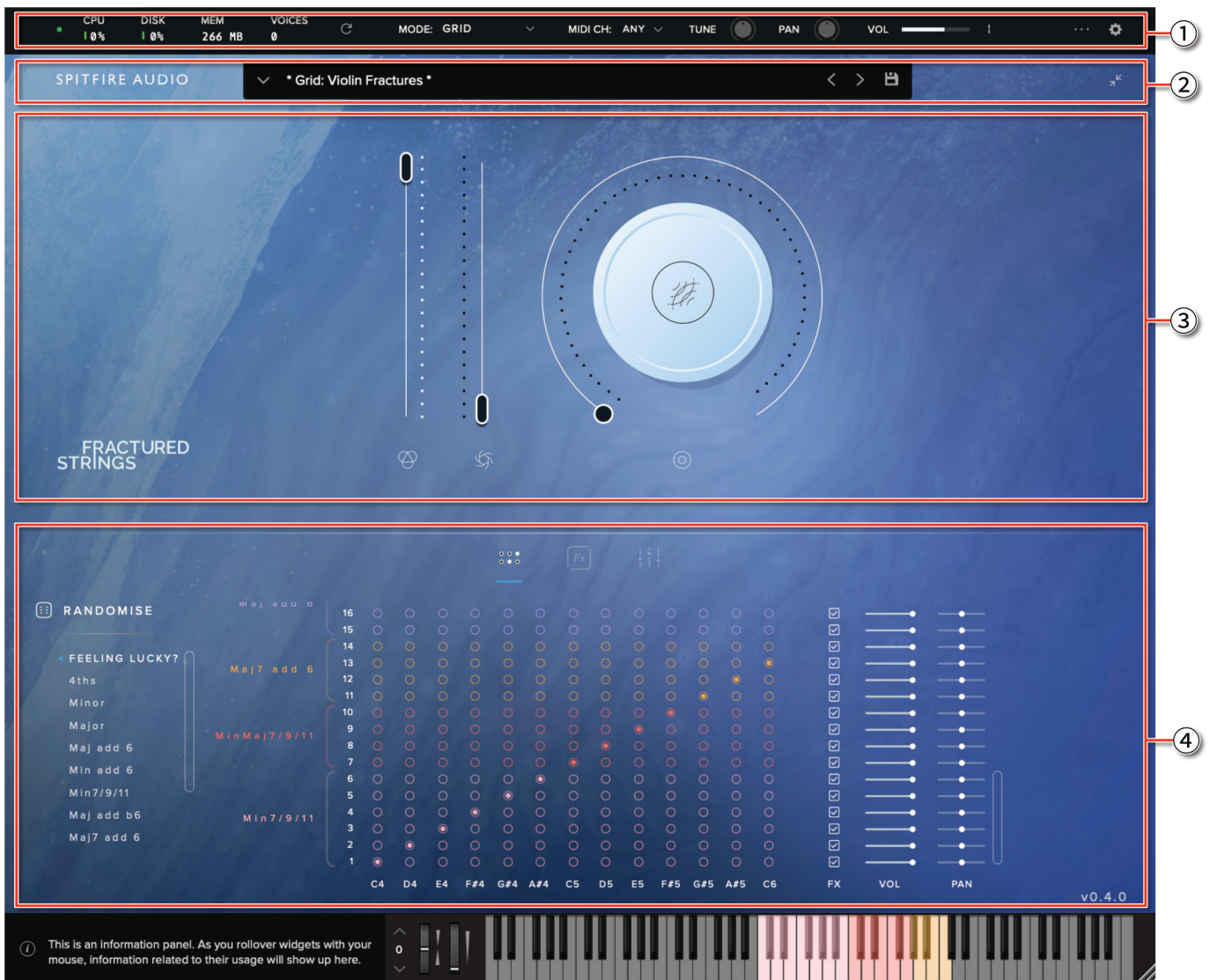
12個のトグル・ボタンで、3つの状態を設定できます。

OFF	ノート無効。
ON	ノート有効。
NO VALID SAMPLE	グレー表示されているとき、ここにはスケールに適合するサンプルが用意されていません。

選択されたスケールとボタンの状態が合致しないとき、キー②とスケール③の横にアスタリスク・マークが表示されます。



概観 (グリッド)

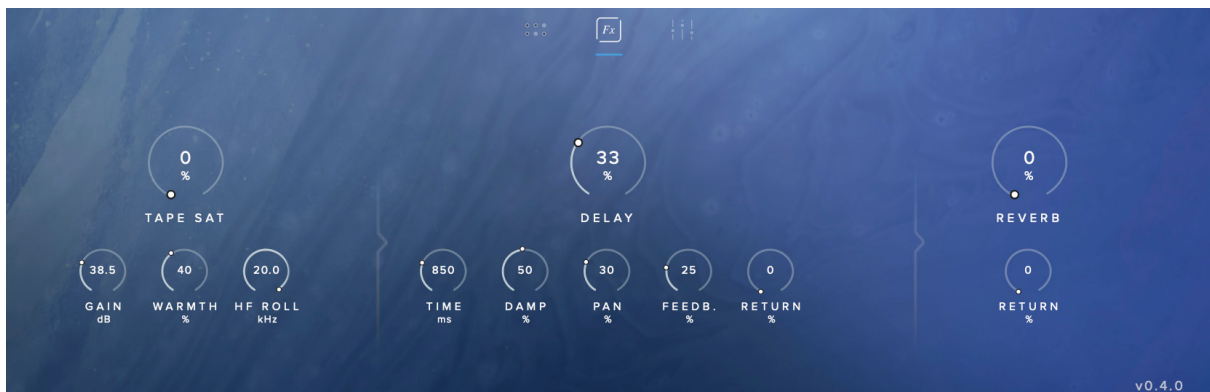


- ① トップ・メニュー
- ② プリセット・セレクタ
- ③ メイン・コントロール
- ④ グリッド

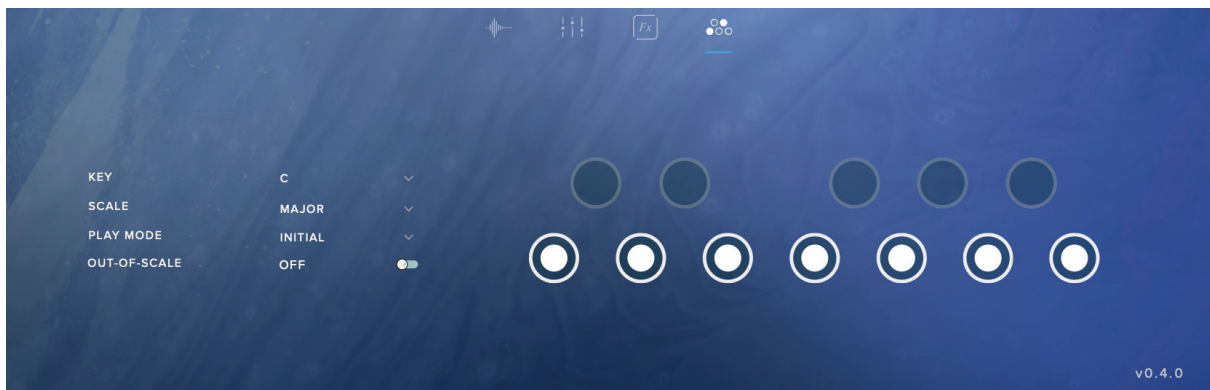
シグナル・ミキサー



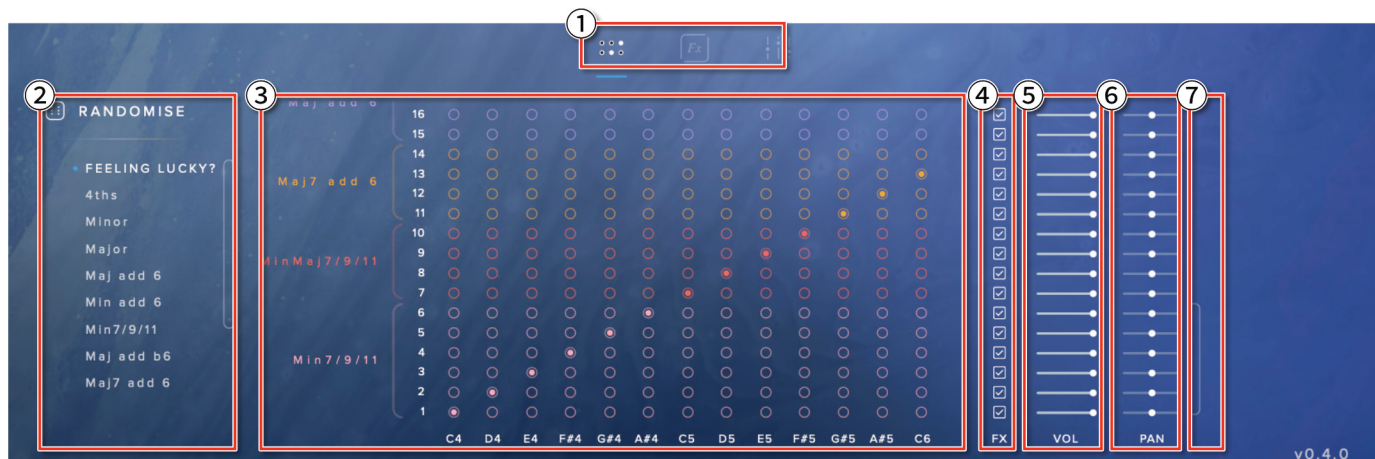
コントローラ



スケール・モード



グリッド



① ビュー選択

各機能ビューを切り替え。各機能については該当項を参照。

② ランダムイズ

ランダムイズの対象となるテクニックをリストから選択。

③ グリッド

グリッド上の○をクリックして、キーボード上にテクニックを割り当てます。点灯中の○は、現在テクニックが割り当てられている場所を示します。この○はトグルのように動作し、○をクリックしてテクニックを選択すると、同じY軸上のサークルが自動的に無効になります。X軸はピッチ・センター、Y軸はテクニックです。カテゴリは色分けされており、縦にスクロールすると、もっとカテゴリが見られます。

④ FX

チェックボックスで、この行の奏法をFXに送るかどうかを切り替え。

⑤ ボリューム

各テクニックのレベルを調整するフェーダー。

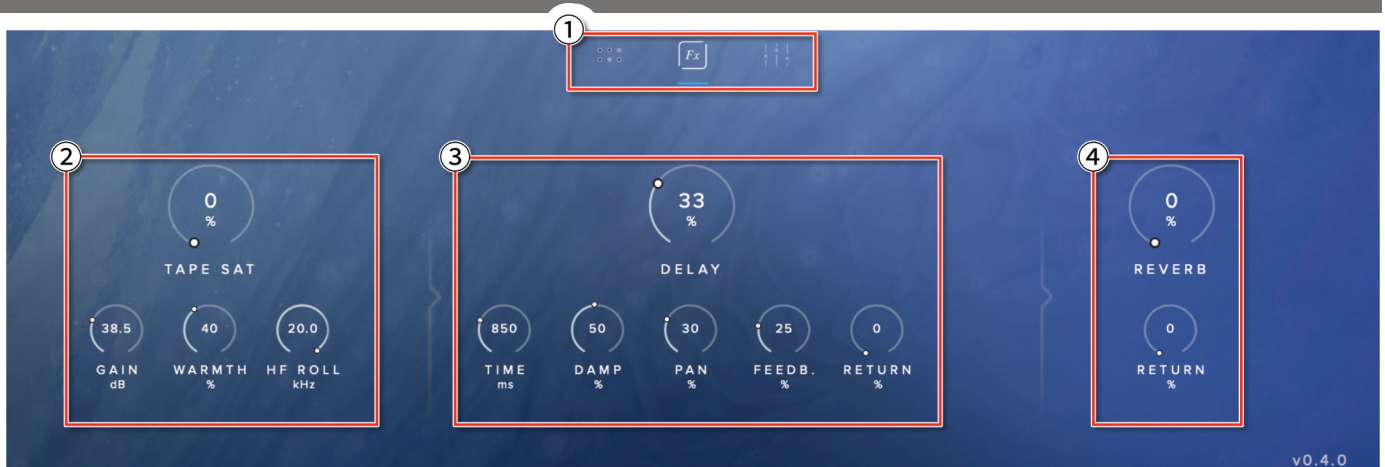
⑥ パン

各テクニックを左右にパン。

⑦ スクロール

さらにカテゴリーを見るには垂直にスクロール。

エフェクト (グリッド)



① ビュー選択

各機能ビューを切り替え。各機能については該当項を参照。

② テープ・サチュレーション

TAPE SAT	テープ・サチュレーションの量を調整。
GAIN	テープ・サチュレーション信号のゲイン量を調整。
WARMTH	テープ・サチュレータのウォーム度を調整。
HF ROLL	テープ・サチュレータの高域を減衰させるポイントを調整。

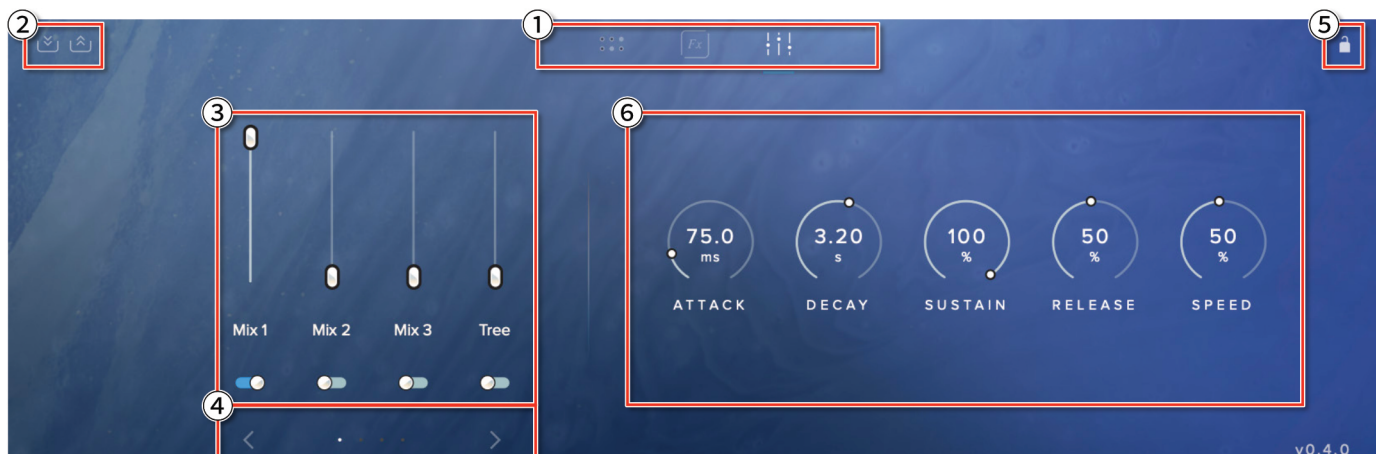
③ デイレイ

DELAY	デイレイ・エフェクトへのセンド量を調整。
TIME	デイレイタイムをミリ秒単位で設定。
DAMP	信号の減衰度を調整。値が大きい、リピートごとに高域が減衰。
PAN	デイレイ効果のステレオの広がりを調整。
FEEDBACK	デイレイラインに送り返されるレベルを調整。値が高いほど、リピート回数が増加。
RETURN	ミックスにおけるデイレイ・エフェクトのレベルを調整。

④ リバース

REVERB	コンボリューション・リバースへのセンド量を調整。IRセクター⑤でリバース・タイプを切り替え可能。
RETURN	ミックスにおけるリバース・エフェクトのレベルを調整。

シグナル・ミキサー (グリッド)



① ビュー選択

各機能ビューを切り替え。各機能については該当項を参照。

② ミキサー・プリセット

異なるインストゥルメントやプリセット間でミックス設定を共有する際に便利です。☑️をクリックすると保存され、📁をクリックするとロードされます。

プリセットの名称変更、削除を行うには、OSごとのファイル・システム上で Fractured Strings > Presets > Mixとフォルダに移動し、mpresetファイルを編集します。

③ シグナル・ミキサー

各シグナルのレベルを調整します。右クリックでMIDIラーンできます。

下部のトグルでシグナルのOn/Offを切り替えます (フェーダーを上げることでOnになります)。シグナルをOnにした場合、完全に有効になるまで時間差がありますので、インターフェース左上のLEDを注視してください。

④ シグナル・ナビゲーション

左右矢印<>をクリックして追加シグナルにアクセスできます。未使用のシグナルは灰色で表示されます。

⑤ ロック

ミキサーをロックし、ミキサーへの変更を禁止します。MIDIコントローラによる変更も防げますが、ミキサーのロックを解除するとすぐにコントロールがアクティブになってしまうのでご注意ください。

⑥ ADSRS

ATTACK	サウンドが 0db からフェードインするまでの時間 (ms) を調整。
DECAY	アタック後、サスティン・レベルに達するまでの時間。
SUSTAIN	ディケイ・タイム後、キーを押し続ける限り保たれる音量。
RELEASE	キー・オフ後に音が $-\infty$ dBまで到達する時間。
SPEED	ノート間のスピードを調整。

トップ・メニュー



① LED

インストゥルメントがロードされると緑色に点灯します。

② CPU メーター

CPUに負荷がかかると、メーターの隣が赤くなります。

③ DISKメーター

ドライブへの負荷が100%に近い、または100%を越す場合、高速なドライブの導入をご検討ください。

④ メモリ

使用中のRAMの容量を表示します。プリセットのロード時、メモリにロードされているインストゥルメントを表示します。

⑤ ボイス数

使用されている発音数を表示します。

⑥ リフレッシュ

インストゥルメントをリフレッシュします。Alt/option+クリックでプラグイン全体をリフレッシュします。MIDI ノートがハングアップしていたり、システム内のサンプルを移動した際に使用してください。

⑦ モード切替

スタンダード表示とグリッド表示を切り替えるには、ここをクリックしてください。

⑧ MIDIチャンネル

インストゥルメントを制御するMIDIチャンネルを設定します。anyを選択すると、インストゥルメントはすべてのMIDIメッセージに反応します。

⑨ チューニング

ノブを動かして半音単位でチューニングします。Shift+ドラッグで0.01半音単位でチューニング可能。Ctrl/command+クリックするとデフォルトに戻ります。

⑩ パン

ステレオ・フィールドで出力信号全体を左右にパンします。Ctrl/command+クリックすると中央値に戻ります。

⑪ ボリューム

インストゥルメント全体の音量を調整します。

⑫ プリセット設定

① ダイナミクス動作

ダイナミクス・フェーダーの動作を指定。異なるレイヤーをトリガーする際に弾くその強さを指定します。ダイナミクスにマッピングされたベロシティでは、ショート・ノートのベロシティをモジュレーション・ホイールでコントロールできます。

- FULL VELOCITY RANGE
- VELOCITY MAPPED TO DYNAMICS
- COMPRESSED VELOCITY HIGH
- COMPRESSED VELOCITY LOW

② ベロシティ

コントローラのタッチに合わせて4つのベロシティ・カーブから選択。

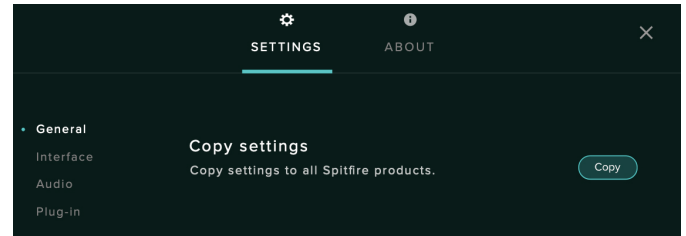
③ CC マッピング

- [RESET]: 当該インストゥルメントのすべてのCCマッピングがデフォルトに設定。
- [CLEAR]: プラグインのCCマッピングをすべて削除。

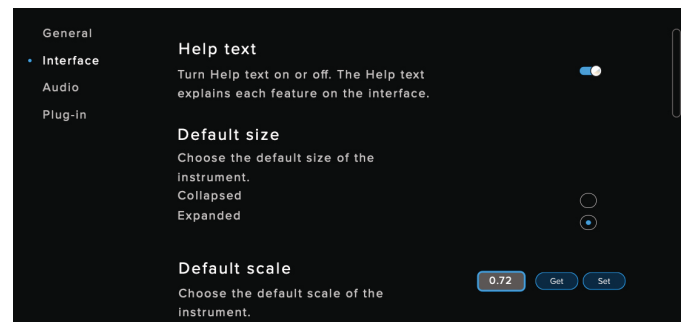
⑬ プラグイン設定

Copy settings (設定のコピー)

コントローラの共通設定を他のSpitfireプラグインにコピーします。

Help text (ヘルプ・テキスト)

プラグインの左下にパラメータ情報を表示します。

Default size (デフォルト・サイズ)

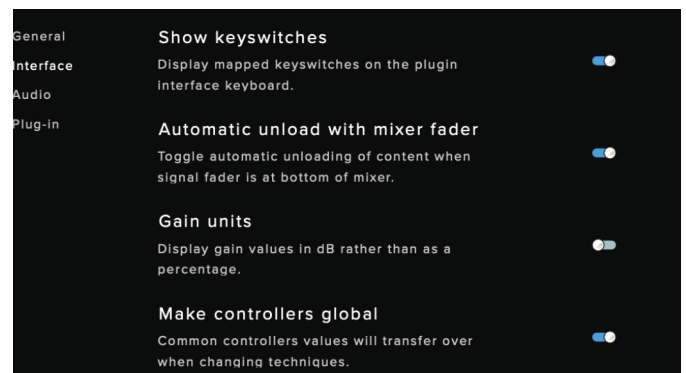
インストゥルメントがデフォルトで折りたたまれた状態で開くか、展開された状態で開くかを設定します。

Default scale (デフォルト・スケール)

プラグインUIを開いたときの大きさ。[Get]を押して現在のスケールを設定するか、値をタイプしてから[Set]と[Save]を押してください。

Show keyswitches (キースイッチ表示)

有効にすると、複数のテクニックを持つプリセットは、利用可能なキースイッチを赤で、選択中のテクニックを黄色で表示します。

Automatic unload with mixer fader (ミキサー・フェーダーでアンロード)

フェーダーを完全に下げた時に、RAMからデータをアンロードするようになります。

Gain units (ゲイン単位)

ゲインをパーセントではなくdBで表示できます。

Make controllers global (コントロールをグローバルに)

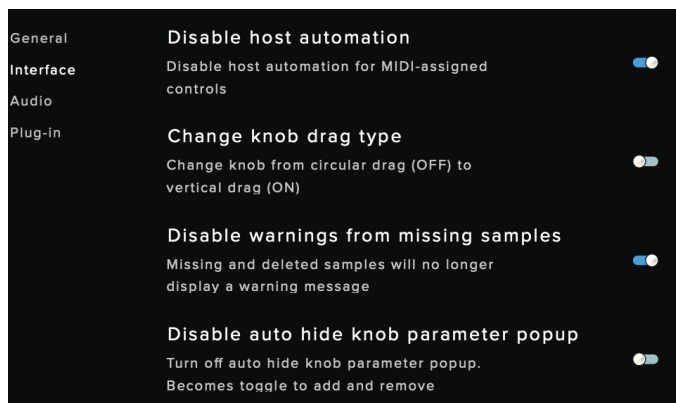
テクニックを切り替えてもコントローラの共通値を保持します。

Disable host automation (ホスト・オートメーション無効)

DAWからのホスト・オートメーションの有効／無効を切り替えます。

Change knob drag type (ノブのドラッグ・タイプを変更)

ノブをドラッグ操作するときのマウスの動作を変更します。



Disable warning from missing samples (サンプルの欠落による警告の無効化)

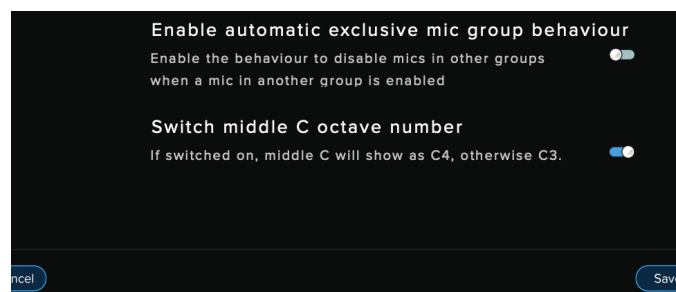
ライブラリのコンテンツが欠落している場合に表示されるプラグイン左上のエラーを非表示にします。

Disable auto hide knob parameter popup (ノブのパラメーター・ポップアップの自動非表示)

有効の場合、ノブをクリックすると常にコントロールメニューが表示されます。

Enable automatic exclusive mic group behaviour (マイク・グループの自動排他動作を有効化)

マイクのグループ化を解除したい場合は無効にしてください。例えば、AMBIENTマイクを有効にする と、POPマイクのグルーピングは無効になります。



Switch middle C octave number (ミドルCのオクターブ・ナンバーを切り替え)

ミドルCの値をC3とC4の間で変更します。異なる MIDI規格を使用するDAWで、キースイッチの表示を合致させる際に使用してください。

Maximum Voices (最大ボイス数)

一度に演奏できるボイスの最大数を入力。発音数が多いほどCPUとメモリの使用量が増えます。

Preload Size (プリロード・サイズ)

各オーディオ録音のためにメモリにプリロードされるサンプル値の最小数です。ディスク・ドライブが遅い場合は値を増やしてください。デフォルトは12288です。

Stream Buffer Size (ストリーム・バッファ・サイズ)

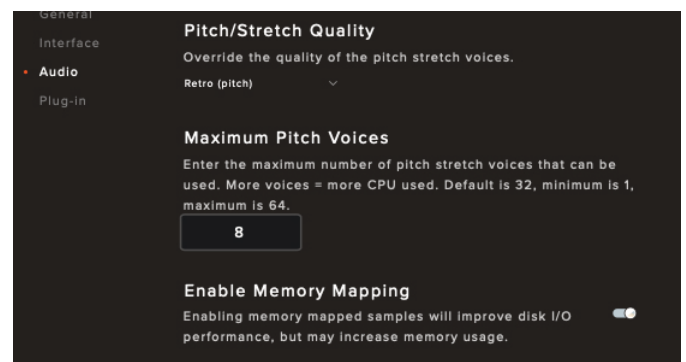
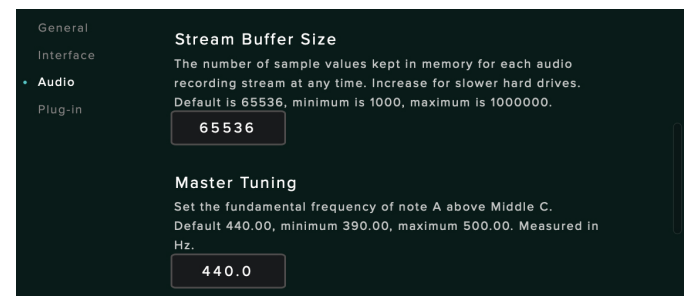
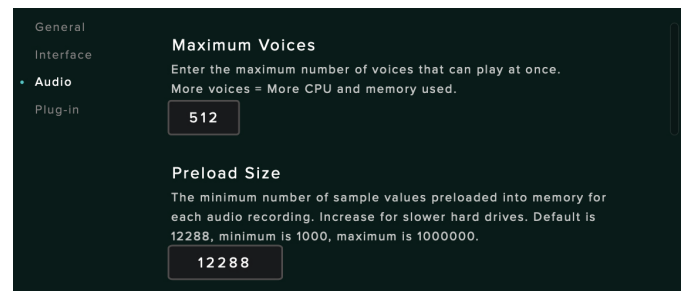
各オーディオ録音ストリーム(サンプル)がメモリに保持されるサンプル値の数。低速のディスク・ドライブでは値を大きくしてください。

Master Tuning (マスター・チューニング)

プラグインのデフォルト・チューニングを変更します。例えば、A = 440HzまたはA = 432Hz。

Pitch/Stretch Quality (ピッチ/ストレッチ・クオリティ)

デフォルトのピッチ/タイム・クオリティを調整して、パフォーマンスを向上させたり、オーディオ・クオリティを改善することができます。使用するライブラリによっては非対応です。



Maximum Pitch Voices (最大ピッチ音色)

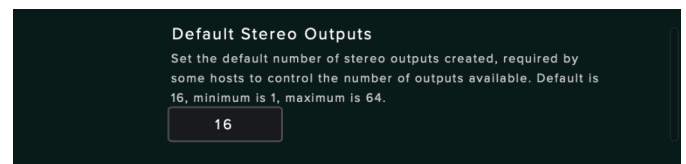
一度にトリガーされるボイス数を制限します。値が低いほどCPUの負荷を軽減します。

Enable Memory Mapping (メモリ・マッピングの有効化)

Windowsマシンではオフにするとパフォーマンスが向上します。

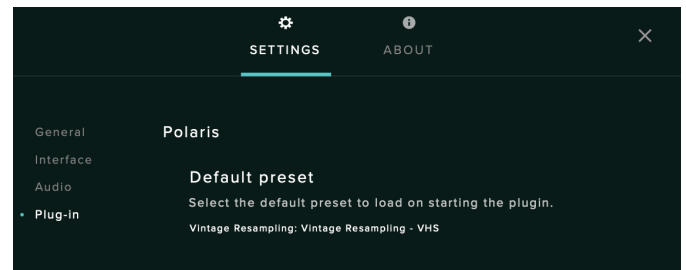
Default Stereo Outputs (デフォルト・ステレオ出力)

マイク・ルーティングのデフォルトの出力数。



Default preset (デフォルト・プリセット)

プリセット名をクリックし、リストからお好みのプリセットを選択してください。



マイク・シグナル

MIX 1

大音量でシネマティックなルーム・シグナルのミックス。

MIX 2

ルームと近接シグナルを使ったタイトなミックス。

MIX 3

近接でより詳細なミックス。

TREE

伝統的なデッカツリー・アレンジメントで、指揮者の頭上の高い位置に配置されます。楽器のフォーカスを維持しながら、ホールの雰囲気強く表現します。ミックスの初手としてよく使われます。

OUTRIGGERS

オーケストラの中間、デッカツリーと同じライン上に設置された2本の無指向性マイク。ミックスに広がりを持たせるためにTREEと組み合わせて使用します。

AMBIENT

2本の無指向性マイクを部屋の後方、OUTRIGGERSよりも高い位置に設置して素晴らしいルーム・アンビエンスを得ます。5.1 サラウンド・ミックスや、ステレオ・ミックスに空間を加えたい場合に最適です。

STEREO SECTION

ステレオ・ペアでセクションをカバーし、中距離感のディテールを再現します。

STEREO ROOM RIBBON

開放的なサウンドを実現する、指揮者位置のステレオ・ペア。

GALLERIES

ホールの後方、バルコニーの高い位置に設置された 2 本の無指向性マイク。5.1サラウンド・ミックスや、ステレオ・ミックスで広大な空間を表現するのにも最適。

CLOSE VALVE

セクションごとの標準的な近接マイクで、最高の近接サウンドを得るためにその場に自然に配置されます。このバージョンのシグナルは真空管マイクを使用。

CLOSE RIBBON

セクションごとの標準的な近接マイクで、最高の近接サウンドを得るためにその場に自然に配置されます。このバージョンの信号はリボン・マイクを使用。

ULTRA CLOSE

超近接マイク。

CLOSE VALVE WIDE PAN

近接マイク+真空管。サウンドステージ全体にパンします。

CLOSE RIBBON WIDE PAN

近接マイク+リボン。サウンドステージ全体にパン。

ULTRA CLOSE WIDE PAN

ウルトラ近接マイク。サウンドステージ全体にパン。

テクニック

SHORTS

Declamatory Shorts 1 / 2 / 3

- 4 x Normale
- 2 Normale, 1 Sul Pont, 1 Harmonic
- 3 Sul Pont, 1 Harmonic

STATEMENTS UP / DOWN

Statements Same Noteは、開始音と同じ音程に解決する短いフレーズです。Statements Up / Down (x7) は、7つの短いアーティキュレーションで、奏でた音程から次のように移動します

- (MIN 2ND): 短2度
- (MAJ 2ND): 長2度
- (MIN 3RD): 短3度
- (MAJ 3RD): 長3度
- (PERF 4TH): 完全4度
- (AUG 4TH): 増4度
- (PERF 5TH): 完全5度

SPLINTERS UP / DOWN

ナチュラル・ハーモニックスをアップとダウンのバリエーションで演奏

- (MAJ 2ND (上昇のみ))
- (MIN 3RD)
- (MAJ 3RD)
- (PERF 4TH)
- (PERF 5TH)

7TH REACHES

3つのアーティキュレーション、ルートから7thへのリーチ、パッシング・ノート付き。

- (MAJ 7)
- (MIN 7)
- (DOM 7)

PIZZ STRUMS

奏でた音程から4度ずつ3つ重ねた和音。

- (4THS)
- (5THS)

ROTATIONS UP / DOWN

奏でた音程から上に7種類の遅いトリル・アーティキュレーション、テンポ120で収録。

- (MIN 2ND)
- (MAJ 2ND)
- (MIN 3RD)
- (MAJ 3RD)
- (PERF 4TH)
- (AUG 4TH)
- (PERF 5TH)

スケール・モードも選択可能。

DISPERSALS

ゆるやかな'アレアトール'トリル。

- (MIN 2ND)
- (MAJ 2ND)
- (MIN 3RD)
- (MAJ 3RD)
- (PERF 4TH)
- (AUG 4TH)
- (PERF 5TH)

スケール・モードも選択可能。

ARPS

幅広いコードをカバーするソロ楽器のみ。テンポ120で収録。

- (MAJ)
- (MAJ WIDE)
- (MAJ 7TH)
- (MIN)
- (MIN WIDE)
- (MIN 7TH)
- (MIN MAJ 7TH)
- (ARP 4THS)
- (ARP 5THS)

FRACTURES

オーケストレーションされたアルペジオ。

- Min7 add 9/11
- Min/Maj7 add 9/11
- Maj7 add 6
- Maj add 6
- Min add 6
- Maj add #4
- Maj add b6
- Major
- Minor
- Sus4

GESTURES

- Statement same note
- Statements up... (x7)
- Statements down (x7)
- Rotations up... (x7)
- Rotations down... (x7)
- Dispersals... (x7)
- Pizz Strum 4ths + 5ths

付録

FAQとトラブルシューティング

Q: システム要件は何ですか？

⚠️ 最新の対応状況については製品ページをご確認ください。

Q: プラグインの設定をデフォルトに戻したいのですが。

以下のディレクトリにある.settingsファイルを削除して、設定をデフォルトにリセットできます。

Mac

Users/<ユーザー名>/Music/Spitfire Audio

Windows

C:\Users\<user>\name\AppData\Roaming\Spitfire Audio

Q: プリセットのリストが空です。

ライブラリ・フォルダを移動した場合、Spitfire Audio Appの**Locate Library**機能を使用することで解決できます。ライブラリの再認証が必要な場合、Spitfire Audio Appの**Repair**機能を使用してください。

Q: ライブラリ左上に赤い感嘆符 (!) が表示されています。

感嘆符をクリックすると詳細なログが表示されます。Spitfire Audio Appの**Repair**と**Locate Library**機能を使用して問題が解決する可能性があります。解決しない場合は、spitfireaudio.com/supportのサポートチーム (英語) までご連絡いただき、ログを添付してください。

Q: 複数台のコンピューターへのインストール。

弊社製品には2つのライセンスがあり、メインとモバイルの2台のコンピューターにダウンロード、インストールできます。ライブラリをハード・ドライブで購入された場合、Spitfire Audio Appでダウンロードを完了する前に、ドライブの内容をインストール先のマシンにコピーしてください。ライブラリをダウンロードした場合は、ライブラリ・フォルダを2台目のマシンにコピーし、Spitfire Audio Appの**Repair**と**Locate Library**機能を使用してください。

Q: Kontaktのサイド・パネルにライブラリが表示されない。


Spitfire Audio独自のアプリ (スタンドアローン、プラグイン) は、KontaktやNative Access上で表示されません。

Q: インターネットに接続されていないマシンでのライブラリ認証。

インターネットに接続されていないマシンでは当該ライブラリを認証できません。認証はインターネット接続されたマシン上でSpitfire Audio Appを通じて行います。

Q: 製品の再ダウンロード方法。

Spitfire Audio Appから行えます。ライブラリ全体のダウンロード、または最新のアップデートの両方をリセットする方法は次の通りです。

- Spitfire Audio Appを開き、アカウントのメール・アドレスとパスワードでログイン。
- 再ダウンロードしたい製品アートワークを選択。
- このページの歯車アイコン  から **Reset** を選択し、 **Reset Entire Download** (フルダウンロードの場合) または **Latest Update** を選択。

これで最新のアップデートがリセットされ、再度インストールできるようになります。所有するすべてのライブラリについて、このプロセスを繰り返せます。

一定時間内にダウンロードをリセットできる回数には制限があります。リセットの制限を超えた場合は、ご連絡ください。

Q: ダウンロード／インストールの問題

ダウンロードの過程で問題が発生する場合があります。その場合、以下をご確認ください。

- ドライブのフォーマットがFAT32の場合、4GB以上のファイル・サイズは制限されているため、弊社の大きなダウンロード・ファイルがエラーの原因となります。ドライブを再フォーマットするか、別のドライブを使用してください。PCではNTFS、MacではMac OS Extendedをお勧めします。
- 私たちのライブラリが非常に大きなファイルであるため、Spitfire Audio Appが圧縮ファイルの展開やドライブへの配置を行うにあたり長い時間を要することがあります。クラッシュしたのか、ファイルの処理中かが判断しきれない場合は、インストール開始時に選択したインストール・フォルダにアクセスしてください。すべてが正常に動作している場合は、フォルダ(またはそのサブフォルダの1つ)にさまざまなファイルが表示されます。
- もしダウンロードが止まってしまったり、中断したまま再開されない場合は、spitfireaudio.com/supportのサポートチーム(英語)まで、お使いのオペレーティング・システム、お住まいの国、自宅か職場か、お使いのISP、お使いのコンピュータとインターネットの間にプロキシ・サーバーやファイアウォールがあるかどうかを合わせてお知らせください。

Q: ダウンロード速度について

私たちのライブラリはAmazon S3サーバーでホストされており、通常は非常に高速ですが、トラフィックが特に混雑する特定の時間帯に、ISPが接続速度を制限する可能性があります。

混雑の少ない時間帯にダウンロードを実行したままにしておくと十分なダウンロード速度を期待できます。Spitfire Audio Appのダウンローダーは可能な限り帯域幅を使用し、最速の速度を提供することを目的としており、ピークに達するまでに数分かかる場合があります。

Q: 購入前のデモについて

現在、製品のデモは提供していません。

私たちのYouTubeチャンネルにアクセスすると、私たちのすべての製品に関する詳細な情報を含む多くのウォークスルーを見ることができます！

Q: Spitfire Audio Appにライブラリが表示されません

Spitfire Audio Appにログインして、**Installed**にも**Download Ready**にも購入済みの製品が表示されない場合、別のメール・アドレスで購入された可能性があります。過去に購入した他のメール・アドレスを確認すると、見つからない製品が見つかるかもしれません。そうではなく、数年前に購入された製品である場合は、サポート・チケットを作成し、お客様のアカウントのメール・アドレスと、紛失した製品に関連するシリアル番号をお知らせください。また、複数のアカウントを統合して、購入された製品をまとめることも可能です。

より多くの情報があればあるほど、迅速な復旧が可能となります！


Q: 製品のアップデート方法

弊社製品のダウンロードは、Spitfire Audio Appが選択したフォルダにダウンロードされることが大前提です。弊社製品に最適なファイル・パスはシンプルです。ただし長いファイル・パスを指定した場合はエラーの原因となることがあります。サンプル・ドライブ > Spitfire Audioのようなパスが理想です。

またダウンロードやアップデート時、Spitfire Audio配下の実際のフォルダを指定せず、Spitfire Audioフォルダ自体を必ず指定してください。

Q: 最新のアップデートの再ダウンロード方法

Spitfire Audio Appに、ダウンロードをリセットする機能が追加されました。

- Spitfire Audio Appを開き、アカウントのメール・アドレスとパスワードでログイン。
- 再ダウンロードしたい製品アートワークを選択。
- このページの歯車アイコン  から **Reset** を選択し、 **Reset Entire Download** (フルダウンロードの場合) または **Latest Update** を選択。

これで最新のアップデートがリセットされ、再度インストールできるようになります。

他のアップデートについても、このプロセスを繰り返すことができます。

Spitfire Audio Appにダウンロードをリセットするオプションが表示されない場合は、spitfireaudio.com/info/library-manager/ から最新版のアプリをダウンロードしてください。

Q: ダウンロード・リンクがなかなか送られてこない

当社では、すべての注文はまず不正チェック処理を経由しており、処理に20分ほど要します (ブラック・フライデーなどの繁忙期には1時間ほどかかることもあります)。この段階で注文が引っかかった場合、手動で注文チェックを行うため、注文処理は最大で24時間遅れる場合があります。

ご注文後、すぐに送付される注文確認メールは、お客様のご注文が弊社システムに正常に記録され、お支払いが正常に行われたことを確認するものです。サポートにご連絡いただく前に、迷惑メール・フォルダのご確認もお忘れなく。

Q: 異なるOS間でのデータの転送

はい、ライブラリ・フォルダを2台目のマシンにコピーし、Spitfire Audio App の **Repair** と **Locate Library** 機能を使用できます。ダウンロードの大部分は別のマシンで行えますが、認証プロセスを完了するためにはインターネット接続が必要である点にご注意ください。

Q: Mac OSX 10.9でのダウンロード

本製品のインストールに必要なSpitfire Audio Appは、Mac OSX 10.10以降にのみ対応しています。

Q: バグの報告

バグを発見された場合は、関連する情報を添えてご連絡 (英語) ください。

- 見つけたバグの説明
- バグが発生しているスクリーン・キャスト (ビデオ)、またはオーディオの例
- プリセット名やライブラリ名など情報が詳細であるほど、問題の真相を究明するのに役立ちます。

Q: 変更履歴 (CHANGELOG) の所在

すべてのバグフィックスと改善点をリストしたHTMLの変更履歴は、製品のドキュメント・フォルダにあります。

Q: 払い戻し／返品ポリシーについて

ダウンロード／インストール・プロセスを完了しておらず、14日以内に購入された場合は、返金／返品が可能です。まだシリアル番号を登録していない場合であってもインストールを完了された場合、返金と返品をお受けできません (使用許諾契約をご確認ください)。ハードディスク・ドライブのご注文の返金は、ドライブが弊社から発送される時点まで可能です。これは通常、ご注文から数日を要します。

Q: パスワードを忘れてしまいました

パスワードをお忘れの場合は、spitfireaudio.com/my-account/login/の[forgot your password?] (またはこれに該当する日本語表記) をクリックしてください。もし過去に2つ以上のアカウントの統合を依頼したが忘れてしまった場合、統合を依頼されたメール・アドレスでパスワードの再発行が機能しない可能性があります。この場合は、お名前と、弊社が知っていると思われるメールアドレスをサポートまでご連絡ください。

テクニック、マイク、ミックス

テクニック

VIOLIN ARTICULATIONS

- STATEMENTS (UP/DOWN/SAME)
- SPLINTERS (UP/DOWN)
- ROTATIONS (UP/DOWN)
- DISPERSALS
- DECLAMATORY SHORTS
- PIZZ STRUMS
- 7TH REACHES

CELLO ARTICULATIONS

- STATEMENTS (UP/DOWN/SAME)
- SPLINTERS (UP/DOWN)
- ROTATIONS (UP/DOWN)
- DISPERSALS
- DECLAMATORY SHORTS
- PIZZ STRUMS

SOLO VIOLIN

- ARPEGGIOS

SOLO CELLO

- ARPEGGIOS

マイク、ミックス

- MIX 1
- MIX 2
- MIX 3
- TREE
- OUTRIGGERS
- AMBIENT
- STEREO SECTION
- STEREO ROOM RIBBON
- GALLERIES
- CLOSE VALVE
- CLOSE RIBBON
- ULTRA CLOSE
- CLOSE VALVE WIDE PAN
- CLOSE RIBBON WIDE PAN
- ULTRA CLOSE WIDE PAN

デフォルトのCCマッピング

CC#1	ダイナミクス
CC#7	グローバル・ゲイン
CC#10	グローバル・パン
CC#11	エクスプレッション
CC#17	リリース
CC#19	リバーブ

⚠ お使いのDAWや環境によっては、上記デフォルトのMIDI CC (コンティニューアス・コントローラ) と動作が合致しない場合があります。必要に応じて、環境にあった設定に調整してください。



Fractured Strings 日本語マニュアル

2024 ©Crypton Future Media, Inc.
2024 ©Spitfire Audio Holdings Limited All Rights Reserved.

2024/JUL issue

本書の一部またはすべてを、Spitfire Audio Holdings Limited、またその日本総代理店であるクリプトン・フューチャー・メディア株式会社に無断で複写、複製、転載、翻訳する事を禁じます。内容は予告無しに変更される場合があります。本書に記載されている会社名、商品名、製品名は、各社の商標または登録商標です。

国内販売元: クリプトン・フューチャー・メディア株式会社

ホームページ: <https://www.crypton.co.jp/>